

がん薬物療法看護Ⅰ

1. 目的 がん薬物療法看護の専門的な知識、技術、エビデンスに基づいた看護実践ができる。
2. 目標 1) がん薬物療法の治療と症状（副作用）について理解できる。
 2) がん薬物療法を受ける患者のセルフケア支援について理解できる。
 3) 症状コントロール不良症例への対応（相談・報告）ができる。
3. 対象 がん薬物療法を受ける患者の看護に興味、関心がある看護師
4. 方法 1日目：講義・事例検討 2日目：講義・グループワーク・発表
5. 日程 9月14日（土）9月21日（土）

[1日目]

項目	時間	内容	方法	担当講師
がん薬物療法 看護総論	8時20分～ 9時50分 90分	1) がんサバイバーシップ 2) がん薬物療法と多職種連携 （チーム医療、リーダーシップ とフォロワーシップ） 3) がん化学療法におけるセルフ ケア支援	講義 討議	がん看護 専門看護師
がん薬物療法 看護概論Ⅰ	10時00分～ 11時30分 90分	1) 看護倫理 2) 意思決定支援 3) 症状マネジメントモデル （IASM）	講義 討議	がん看護 専門看護師
抗がん剤の安 全な取り扱い	12時15分～ 13時15分 60分	1) 抗がん剤の危険性 2) 抗がん剤の曝露について 3) 抗がん剤の安全な取り扱い	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師
急性期の副作 用対策と対応	13時20分～ 14時20分 60分	1) 各急性症状の理解と対策 （過敏症、アナフィラキシー、 インフュージョンリアクショ ン、血管外漏出） 2) 対応の実際	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師
代表的な副作 用対策とセル フケア支援	14時25分～ 17時25分 180分	1) 代表的な副作用対策 （消化器症状、血液毒性、神経 障害、皮膚症状） 2) アピアランスケア	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師

[2 日目]

項目	時間	内容	方法	担当講師
セルフケア支援に活かす患者教育と情報・資源	9 時～10 時 30 分 90 分	1) 患者教育について 2) エンパワメント 3) 活用できる情報と資源 4) サポート・グループとセルフ・ヘルプ・グループ	講義 討議	がん看護 専門看護師
がん薬物療法看護概論Ⅱ	10 時 40 分～ 12 時 10 分 90 分	1) がん薬物療法薬の特徴 2) 治療計画・レジメンの理解 3) 投与管理	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師
臨床薬理学・薬剤情報の活用	13 時 10 分～ 14 時 10 分 60 分	1) 薬物の体内動態 2) 薬剤の安定性・配合変化 3) 薬剤情報の活用	講義 討議	がん専門 薬剤師
外来化学療法の実際	14 時 20 分～ 15 時 20 分 60 分	1) 外来化学療法の現状 2) 外来化学療法の施設基準と必要条件 3) 外来化学療法センターのシステム紹介 4) 各職種の役割とマネジメント	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師
グループワーク	15 時 30 分～ 16 時 30 分 60 分	1) カンファレンスの運営について 2) グループワーク	講義 討議	がん化学 療法看護 認定看護師